



2023-2024 Shari Rotary Club Bulletin

- 会長：村田 均 ● 副会長：森田 拓巳、中島 雅幸 ● 幹事：豊島 和敏
- 創立：1963年10月5日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00～13:00
- 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランティア知床斜里駅前
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町 16-10
TEL(0152)22-1700
- 斜里 RC 事務局メールアドレス sharirotary@peach.plala.or.jp

第 2941 回例会 2024 年 4 月 10 日(水)

発行:会報・広報・雑誌委員会

点鐘：村田 均 会長

司会：犬伏 常昭 SAA

1. ゲストおよびビジター紹介 ～村田 会長

- ・北見西 RC 松浦 信一 氏 (次年度第 5 分区 ガバナー補佐)

斜里ロータリークラブの皆さま、こんにちは
只今、ご紹介いただきました次年度ガバナー補佐を務めさせていただきます北見西 RC の 松浦 信一 と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日は、皆さま方の貴重な例会の時間にご挨拶の時間をいただき感謝しております。ほんとうに有難うございます。

昨年、ロータリーの「クラブ協議会」を次年度の前にやらなきゃいけないということになりまして、今年度も皆さま方にご協力をいただきながらクラブ協議会に参加させていただきたいと思っております。そして新年度になりましてガバナーの「公式訪問」の際には「会長・幹事懇談会」はじめ皆さま方との「意見交換会」をすとおっしゃっておりますので、その時にはまたよろしくお願いいたします。

小谷ガバナーも、次年度の RI 会長のテーマに基づきまして地区の目標を掲げております。それに関しては、今週末の「地区協議会」でさらにご報告があると思いますが、何よりもこの分区の各クラブが繁栄してこそその 2500 地区であり、RI でありますので、そういったことがうまくいくように地区の各クラブの「伝統文化」を十分に尊重しながら、地区とのパイプ役としてやって参りたいと思っておりますのでどうかよろしくお願いいたします。本日は、ありがとうございました。



2. ロータリーソング ～それこそロータリー

3. 会長の時間 ～村田 会長

まず、清里 RC から先日の IM 参加のお礼状が来ています。今日は、「人と出会い」について話をしたいと思います。

先日、私の家に二人のご婦人の訪問がありました。それは、「キリスト教」の布教の一環でした。お話をしている中で「私は、昔新聞社にいた」という話になって、「そうですか、私の主人も神戸新聞の記者をやっていました」そうで、つい先日、ご夫婦でお出でになり、神戸で新聞記者をやっていた時に「阪神淡路大震災」に遭い、その後清里町に移住したとのことでした。

人間というのは不思議なもので、こういう機会が無かったら会うことはなかったと思ひますし、「清里の温泉によく行くんですよ」と言いましたら「その折には電話でもください」と言われました。電話することによって、さらに人間関係が深まるのかなというふうに今思っています。

これも「新聞社」という共通点でお互いに経験のある部分でお話をしたいなと思っております。

「人と人との出会い」というのは、ロータリーにしても自分にしてもプラスになるのかなと感じたところでもあります。



4. 幹事報告 ~なし

5. 委員会、その他の報告 ~村田 会長

- ・森田 クラブ管理運営委員長～親睦委員会からです。今日は親睦委員長がお休みですので私が報告させていただきます。皆さんのところには案内が行っていると思いますが、5/25(土)の「家族親睦バスツアー」の出欠報告を5/2(木)までをお願いします。また、60周年記念誌部会の会議を4/16(火)18:00より道の駅で行います。関係者はお集まりください。

6. 本日のプログラム ~村田 会長

◆会員卓話～遠藤 会員

皆さんにお配りした「えんゆう通信」と言って事務所で毎年作っているニューズレターなんですけど、今年の「えんゆう通信」で「家族信託を活用してみませんか」ということで出させていただきましたので、この部分についてお話ししようかなと思っています。

うちの事務所ではというより僕自身が「終活」に力を入れてまして皆さんも「終活」に興味があると思いますが、「終活」と言ったらイメージ的に「死が近づいてそのための準備」みたいな感じに捉えている人もいるのではと思うんですけど、決してそういう訳ではなくて、人間は、いつ死ぬのか分からないので、僕もまだ50代なんですけど、50代のうちからそういうことを考えていくのが大切なことかなと思っています。

「終活」は死ぬための準備ではなくて、例えばお金を持っている人が子供たちにお金を残さないで自分たちで楽しく過ごしたり、旅行に行ったりするのも「終活」の一つではないかと思ったり、あと自分が生まれてからの人生を振り返ってみたりするのも「終活」の一部ではないかなと思っています。

皆さんに「終活ガイドブック」と「エンディングノート」の冊子をお配りしました。

この「エンディングノート」というのは「遺書」とは違って法的に有効だというものではないのですが、

これは、書いたことによって亡くなった人の遺族が、これを見て亡くなった人の気持ちが分かって、その人の意志に従うということもあり得るので、この「エンディングノート」に書くことは大事なことかなと思っています。

僕ら、仕事をしていて一番困るのが、亡くなった人の財産は何があるのか、ということです。預金とか不動産であれば調べる方法がありますが、例えば、デジタル資産とか生命保険、投資信託、株式など、なかなか分からないものもあるので、この「エンディングノート」に書いておけば、その人が亡くなった時探しやすいのかなと思っています。



7. ニコニコ B O X ~なし

8. 出席報告 ~森田 クラブ管理運営委員長

- ・本日出席～29名中17名出席(出席率:58.62%)



☆ 幹事より次回例会の案内

- ・次回は4/17(水)第2942例会 地区研修・協議会参加報告(担当:次年度会長・幹事)



世界に希望を生み出そう

2023-2024 国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

斜里 RC 会長のテーマ

ロータリーを楽しみながら、
人間力を養おう!